



# 成東高校同窓会報

第10号

2020. 6. 1

発行：成東九十九同窓会  
編集責任者：齊藤 功（高22回）  
印刷：(株)サラト

## 新同窓会長に志賀直温氏



地域の未来を見通す力は、広く各界に知られており、かかる逸材を会長にお迎えできたことは、同窓生にとっても誇らしいことです。

第114回総会において、清水新次会長（高15回）が御勇退され、新会長として志賀直温（しがなおほる・高19回）氏が満場一致で選出されました（総会の詳細は第2面）。

志賀新会長は、昭和23年東金市生まれ。本校から弘前大学農学部を卒業されました。

平成元年東金市議会議員となったのち、平成4年より東金市長を5期務められ、その間、千葉県市長会会長、全国市長会副会長等を歴任、千葉県政界における重鎮として地域活性化に多大な功績を残され、昨年春、旭日中綬章を受章されました。

温和で公正なお人柄であるとともに、多角的な見地から

また、新会長は、成東尋常

中学誘致の歴史に深い関わりを持つ明治の郷紳、志賀吾郷氏の曾孫に当たります。詳細は、『九陵百年』『九陵九十年』『東金市史』史料編四等にゆづりますが、縁という不思議な力のはたらきを感じずにはいられません。

清水前会長は、創立百十周年行事の実施を嚆矢として、本同窓会報の定期発刊、観櫻会の開催、女性役員・若手役員の積極的登用等、多くの事業を手掛けられ、嘉瀬元会長の敷かれた九十九同窓会の礎石をさらに堅固なものとなされました。

志賀新会長のもと、さらにこの礎を盤石なものとしていきたいと思えます。



### 学校規模

生徒数	合計833名
	男子442名(53%)
	女子391名(47%)
クラス数	21クラス
	(各学年7クラス)

### 卒業者数

合計	30,129名
旧制中学校卒	4,620名
併設中学校卒	545名
新制高等学校卒	24,964名
	(令和2年4月7日現在)

### 表紙紹介

題名「三年 夏」(本校のための書き下ろし連作)  
作者 立原あゆみ氏(本市川洋一氏[高17回卒])。1970年『タブタブ』(集英社「週刊マーガレット」)でデビュー。代表作は『本気!』『JINGI 仁義』他多数。



# 第114回

# 九十九同窓会 定期総会報告

幹事をさらに増員へ！  
——定期総会が、去る令和元年8月4日(日)午前10時より、本校百周年記念館にて開催されました



校長  
新村浩章  
(高32回)

同窓会の皆様、初めまして、この四月に第三十五代校長として着任いたしました新村と申します。どうぞよろしくお願いたします。

例年通り、八月第一日曜日午前一〇時に定期総会を開催いたしました。今年度は、普通科第二九回・理数科第四回卒業生の皆さんにご案内をいたしました。内容は左記の通りでした。

記

- 一 開会挨拶 眞壁力副会長
- 二 清水新次同窓会会長挨拶

- 三 名取康雄校長挨拶
- 四 議事

- (1) 会務・会計報告
- (2) 監査報告
- (3) 同窓会会報の発行について
- (4) 役員改選について
- (5) その他

- 五 講演 若林 宏氏(高理4回)
- 六 閉会挨拶 眞壁力副会長

定期総会后、地元山武市成東の「米作」に席を移し、懇親会を和気藹々と執り行いましたことをご報告申し上げます。

(資料)

- 一、平成三〇年度各支部会務報告

- 三〇年
- 八月 五日 同窓会総会
- 八月 一八日 横芝九十九同窓会
- 九月 八日 東京九十九同窓会
- 十一月 一四日 千葉県庁九十九会

三二年

一月一九日

千葉県警九十九同窓会

二、令和元・二年度 同窓会役員一覧

顧問	清水 新次(高15回)
会長	志賀 直温(高19回)
副会長	金田 重興(高15回)
副会長	眞壁 力(高19回)
副会長	布留川信行(高20回)
副会長	海宝 弘和(高25回)
副会長	伊藤 恵子(高普35回)
副会長	名取 康雄(高普30回)
幹事*	里見 勇(高16回)
幹事*	木嶋 由美(高20回)
幹事*	平山みさ子(高20回)
幹事	清宮 清一(高20回)
幹事	内藤 光雄(高21回)

幹事*	鈴木 正美(高23回)
幹事	林 喜一(高25回)
幹事	田井中善夫(高理1回)
幹事*	上代 真澄(高普28回)
幹事	山本 重文(高普29回)
幹事	鈴木慶一郎(高普31回)
幹事*	戸倉 富子(高普31回)
幹事*	小林 弘明(高普36回)
監事	西川 泰雄(高11回)
監事	小山 和典(高普30回)

\*の幹事は規約第6条により、令和元年12月2日臨時役員会に諮られ、追加承認されました

訂正

第9号の本部役員紹介で同窓会役員の任期を平成30〜31年度と記載しましたが、平成29〜30年度の誤りでした。お詫びと共に訂正いたします。

## 新校長あいさつ 同窓会の皆様へ

さて、令和二年度は始まりましたが、新型コロナウイルスが猛威を振るっている中、知事の臨時休業要請、政府からは緊急事態宣言が次々に出され、始業式・入学式は規模縮小により行いはしたものの、臨時休業が五月末日までとされていきます。この会報が皆様の手に届くころはどのような状況なのか全く分からない状況に今現在はありません。どうか一刻も早くこの状態が改善され、平常が戻ってくることを願うばかりです。大変な年度初めとなりましたが、全職員協力して難局を乗り切っていきたいと考えております。変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願いたします。





# 同窓会長を

## お受けして



新同窓会長  
志賀直温  
(高19回)

昨年八月の同窓会の総会で、前清水会長の後任として同窓会長を仰せつかりました。東金市長として二十二年間を過ごした後の段階で、成東九十九同窓会の会長をお受けする決断をするには逡巡もありました。

成東高校の前身である成東中学校が創立されたのは明治三十三年（西暦一九〇〇年）で、当時の状況については、創立九十周年の記念誌『九陵九十年』に執筆された加藤時男先生の「成東尋常中学校誘致を巡って」に詳しく記されています。

日清戦争後の当時、全国的に教育の必要性が叫ばれていた状況下で、山武郡内でも県立尋常中学校の誘致運動が山武郡制施行以前の武射郡派と山辺郡派との間で繰り広げられました。その結果、成東町に県立佐倉尋常中学校の成東分校が創立され、そしてその八年後には誘致合戦に敗れた東金町に、県立東金高

等女学校が創立されました。

記念誌には私の曾祖父が東金町の政治家としてその経緯に大きく関わっていたことも記されており、そのことが会長をお受けすることを逡巡させたのですが、実はその長男である私の祖父は成東中学校に入学し、八回生として卒業しています。そして同窓会名簿を見ると、成東中学一回生の卒業生は三十三名で東京帝大が二名、翌年以降も毎年東京帝大や京都帝大、千葉医専や千葉師範、私立では早大や慶大など当時の日本の主要な高等教育機関にかなりの比率で入学しており、まさに当時の成東中学を経由して満を持したように多くの優秀な人材が巣立ったことが分かります。

当時、子弟を高等教育に進ませるための場を強く望んでいたこの地域の人々にとつて重要な役割を果たすこと、結果として学校の設置場所の問題ではなく、地域の中にその場を作ることで将来を託せる人材に期待を注ぐことだったのでしょう。それを感じられるのが「九十九会」の名称です。創立の年から使われているこの名称は、成東中学校が教育の場として重要な役割を果たすためには、まさしく地域を上げた取り組みが必要であることとを象徴しているものだと思います。

ます。

私が会長をお引き受けすることにしたのは、今まで先人達からそのように守り創り上げてきた成東高校の地歩を、さらに継続して充実させることが、同窓会長としての役割だと考えたからです。

今年には特に創立百二十周年の年でもあります。現在同窓会の活動も、本会以外に支部として横芝光地区、八街地区、東京九十九同窓会、県庁九十九会、県警九十九会、そして仙台やあるいはフェイスブックでも同窓生の繋がりができ始めています。同窓会役員の方々を始め、そうした地域や年齢を超えた皆さまのお力もお借りしながら務めていきたいと考えていますのでよろしくご願ひ申し上げます。

## 退任にあたって



前同窓会長  
清水新次  
(高15回)

昨年八月成東九十九同窓会会長を退任いたしました。顧みますと十一年前の平成

二十一年六月に今は亡き嘉瀬元会長が突然来訪され、同窓会長就任の要請を受けましたが、私は人工透析治療中でしたので固辞いたしました。しかし、再三の来訪、要請により二年間だけという約束で引き受けたところ、いつの間にか十年間もの長い間会長職を続けることになってしまいました。

この間、私の体調のハンデにもかかわらず、役員、会員の方々、事務局担当の諸先生方に支えられ、格別の御協力、御支援をいただきながら何とか職責を全うすることができました。心から感謝申し上げます。

私の在職中新規に始めた同窓会事業としては、同窓会報の発行及び観櫻会の開催（何れも内藤元校長の発案による）、母校生徒の部活動への支援、教員自主研修への助成などがありますが、財源的な余裕があれば更に充実を図りたいところでした。

また、課題としては、同窓会の更なる活性化（支部組織の再編強化、若年会員、女性会員の参加促進など）、旧武道館の改修、同窓会報協力金未納者の解消、財源確保などが残っています。

このたびは長らく東金市長を務められた志賀直温氏が新たに同窓会長に就任され、大変心強く私も安堵しているところです。

新会長さんには持ち前の優れたリーダーシップを発揮していただき、同窓会の諸課題解決をはじめとして、会の更なる充実、発展を図っていただけるものご期待しています。

今年には成東高校創立百二十周年を迎える記念すべき年であり、様々な記念事業が計画されています。会員の皆様におかれては、記念事業に積極的に御参加、御協力いただき、創立百二十周年を盛り上げていただくとともに、志賀新会長さんに今まで以上の御支援、御協力をいただけますよう切に願ひする次第です。

中国に端を発する新型コロナウイルスウィルス感染が日本をはじめ、地球規模で拡大して、先の見えない何とも言えぬ社会的、経済的不安が増しているように感じられます。このような時こそ成東九十九同窓会員として互いに交流を深め、情報交換し、絆を強固にして難局の時代を乗り切っていきたいものです。

会員の皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を心からお祈りするとともに、成東九十九同窓会と創立百二十周年を迎えた成東高校の限りない発展を願っています。

十年間の心強い御支援、御協力本当にありがとうございます。



# 経済記者として 我々が伝えてきたこと ～ 新聞報道の現場を振り返って～



## 講師略歴

若林 宏氏 (高理4回)

日本経済新聞社人材教育事業局研修  
・解説委員

早稲田大学政治経済学部卒業後、1984年に日本経済新聞社入社。98年流通経済部次長、2000年大阪経済部次長、06年から会員制マーケティング誌「日経消費マイニング」「日経消費ウォッチャー」編集長。10年松山支局長、13年から現職。早稲田大学非常勤講師。立正大学、長崎県立大学などでも教壇に立つ。

私が高校に在籍した一九七〇年代は、まだ世の中が騒がしい時代でした。ベトナム戦争の終結のニュースが流れ、成田空港建設を巡って三里塚闘争が続いていました。マスコミ界に行きたかったのは、社会への関心が高かったからかもしれません。新聞を読むのが好きで、毎日隅から隅まで読んで、その日読んだことを親に解説したりしていました。大学生時代には、マスコミ研究会というサークルに入って、ミニコミ誌を出したり、研究したことを発表したりしました。それで文章力や表現力を鍛えることができたと思っています。

新聞社は日本経済新聞しか受けませんでした。社会部記者

はあまり好きではありませんでした。また一般紙の新聞社だと最初は地方勤務になるのが普通でした。私は東京で仕事をしたいだったので、日経新聞を選びました。経済の中心である都会での仕事になるからです。一九八四年に入社しました。東京本社経済解説部に配属され、経済企画庁(現・内閣府)の記者クラブに入りました。その後一九八六年に流通経済部(現・企業報道部)に異動になりました。経済記者として、小売業、流通業、メーカー、マーケティングといった分野を長く担当することになりました。

記者の取材には二通りあります。一つは、オモテ(公式)の取材です。アポを取って取材先

に向いて、インタビューします。官公庁の記者会見やレク、企業などの会見があれば出かけます。統計発表や企業のリリースを受け取ることもあります。記者が世論調査や独自アンケート調査を実施する場合もあります。こういうもので取材し、記事を書きます。

もう一つは、ウラ(非公式)の取材です。実は

こちらの方が重要なものが多いです。政治家や役人、経済人との懇談の席です。そこでの取材は基本的にオフレコですが、記者が問題だと思ったことを記事にする場合もあります。さらには、政治家や経済人などの取材対象者の自宅を訪問し、通勤途中で本人を直撃しての取材です。私もこの非公式取材をよくやって記事を書きました。特ダネ記事は記者にとつて勲章です。

新聞業界は、今非常に厳しい状況にあります。二〇〇〇年には、国内の新聞総部数は五〇〇〇万部を超えていましたが、二〇一八年には四〇〇〇万部を割ってしまいました。約四分の一も減っています。二〇一七年の新聞通信調査協会の調査では、新聞を毎日読む人の割合は、二十代で約九%、十八〜十九歳では約三%です。若者の新聞離れが進んでいます。若者の情報源は紙からデジタルへと移って、新聞よりネット利用が増えています。

このような時勢の中で、日経は新しい新聞のカタチ、「日経電子版」を始めました。創刊から九年で電子版有料会員が七十二万人(世界四位)になっています。また、英国の有力経

済メディア「フィナンシャル・タイムズ」を買収しました。有料購読者一〇〇万人で、八割が電子版のメディアです。日経は世界最大の経済メディアになりました。さらに、日経ではAIが記事を作成しています。例えば、企業が発表する決算情報をAIが自動作成し、発表数分後に電子版に配信しています。

AIが記事を書ける時代だからこそ、生身の記者が伝える内容が大事になります。これまでに新聞が暴いた真実の例は数えきれません。日経は「徹底した取材と実証主義」に基づく現実的な報道を心がけています。記者は「世の中の人たちが知りたこと」を代わりに取材して伝える代理人の使命を担います。報道の自由を守るためにも、新聞は報道の正確さと信頼性を保たなくてはなりません。

好きな言葉があります。「新聞なしの政府と政府なしの新聞、何れかを選択しろと問われれば、私は少しも躊躇せずに後者を望むだろう」(米国第三代大統領・トーマス・ジェファーソン)。民主主義の理想を追求した政治家の言葉です。世の中にやはり新聞は必要なのだと思います。



# 各地からの

## たより

母校を離れても  
いまなお繋がる  
人との絆は温い

### 仙台九十九同窓会

三年前、中島貴弘氏（高40回）のFacebookや口コミでの発信をきっかけに、仙台九十九同窓会が結成されました。仙台及び東北在住の同窓生（高34回～高48回）十名弱が、年に三～四回集まり、同窓会をしています。

中島氏は大手ゼネコン勤務で岩手県釜石市に単身赴任中です。会のメンバーは、同じく単身赴任の人、東北の企業勤務の方、移

住者、結婚を機に東北に来られた方と、背景もそれぞれです。

時期は違えど同じ学び舎で青春時代を送った者同士が東北の地で成高バナシで盛り上がる、とても良い時間と繋がりを持つことができています。

昨秋、大きな台風が千葉県を襲った際には、情報交換をして最新状況を確認しながら、お互いの実家を気遣いました。同じエリアに住む同窓生同士が、離れて故郷を思う心を重ねて励ま

し合い、連帯感が高まりました。今は四～五十代が中心ですが東北に住む成東高校卒業生の方々に、世代を問わず気軽に参加していただければ嬉しいです。

世話人・北野(菊池)明子(高39回)

連絡先・sendaisukumo@gmail.com

Facebook：仙台九十九同窓会



仙台九十九同窓会

### 横芝九十九会

令和元年八月十七日(土)に総会・懇親会を開催しました。志賀直温九十九同窓会長様もご出席ください。懇親会では年齢層を超えて懇談がなされ、成東高校の数々の思い出話に花が咲きました。五十名が参集した盛況の会となりました。

今回の会を行うにあたり、同窓会名簿を活用して、町在住の

同窓会員約五百名にご案内をした成果です。「今回は日程が合わず、次回はぜひ」という返信も多くいただきました。

鈴木武泰会長を中心に、今後も会の活性化に努めて参りたいと思います。(文責：佐瀬一生)

【事務局】本田和夫(高30回)

TEL：0479-8216442

### 東京九十九同窓会

令和元年九月七日(土)、日本工業倶楽部にて東京九十九同窓会の総会が開催されました。

この度は世代間の交流を図り、パネルディスカッションを行いました。登壇者は、高校第5回卒業の大先輩から、働き盛り、新進気鋭、第65回卒・社会人三年

目までの六名です。高校一年生だった六十九年前の失敗談が披露されるや、当時三年生の先輩が大向こうから声をかける一幕もあって、率直な応酬が会場に笑いの渦を起こしていました。

企業・行政・教育そしてボランティアと活躍の場も多彩な顔ぶれが、それぞれの立場と経験からの知見や提言に耳を傾けることで、年齢や性別も越えた相互理解を深めることができました。

そして夢を語る言葉に込められた熱い思いを受け止めた参加者

は、大きな勇気を授かりました。

今回は会場を変えての開催です。日時などが決まりましたら、成東高校HP等でお知らせしますので、奮ってご参加ください。

【連絡先】布留川信行

TEL・FAXとも

0429-3216139

### 県庁九十九会

令和元年十一月六日(水)に、「ホテルプラザ菜の花」にて、志賀直温同窓会長、母校の名取康雄校長、鹿間陸郎東金市長、佐藤晴彦横芝光町長はじめ多数の来賓をお迎えし、恒例の県庁九十九会総会及び懇親会が開催されました。

日頃は様々な支所や部署に分かれて働く同窓生が一堂に集い、近況報告や懇談に、楽しい時を過ごしました。

### 千葉県警九十九会

令和二年一月十八日(土)に、「三井ガーデンホテル千葉」にて、恒例の千葉県警察九十九会の総会及び懇親会が開催されました。旧交を温め、労をねぎらい合う和やかなひとときとなりました。

## 地区別・職場別同窓会



# 同窓の想い

前号から、同窓生の活動をご紹介するコーナーを設けました。近況報告からクラス同窓会のお誘いまで幅広くご活用願えれば幸いです。

掲載ご希望の方は、

メール：999narutou@gmail.com

電話：0475-82-3171（成東高校総務部同窓会報担当）

封書：千葉県山武市成東3596

千葉県立成東高等学校 同窓会報担当

までお寄せください。



## Here Comes the Sun.

小川（菅野）泉（高24回）

坂道、千本桜の校庭、教室の景色、  
緑ふかく輝く人々、すべてが脳裏に。

卒業以来、初めて学校へ行ってみた。

夏合宿、一年生の頃、野球応援etc.

みんな、みんな、すべてが意味のある  
こと。

桜は花ぶぶきを過ぎ、若いみどりの  
葉におおわれ、田園や静寂がとても幸  
せ。ことばのない世界へタイムスリッ  
プ。ティーンエイジの忘れられない日  
常。未来への模索・展望も明るく生き  
ていた。

学び舎は小さく、時の経過が愛おしい。

今、スズラン咲く野原のまん中で大  
口で笑う幼な子（孫）と一緒に！太陽  
の日ざしに照らされ、私は生きている。  
BGMにビートルズの音がする。

## 「磯の会」最後の展覧会

成高生の皆さん、毎夏、東金市のサンビアで「磯の会」という美術展覧会が開かれていたのを御存じでしたか？

「磯の会」は、本校で美術教師として教鞭を執られていた磯村邦雄先生（在籍昭和45年～55年）の門下生で、美術家として活躍されている卒業生が、年に一度、先生を慕って集い、20年以上も開催されていた、地域では知る人ぞ知る展覧会です。

ただ、磯村先生も御高齢となられたこともあり、昨年をもって惜しくも最終展覧会となりました。成高生で芸術の道を目指す皆さんも、このように母校の縁を大切に道を究めていただきたいと、ここで御紹介します。

上の二枚の作品が磯村先生の御作品、下の二枚は展覧会の様子です。磯の会に関するお問い合わせは、まずは、九十九同窓会報担当田井中(y.tink@chiba-c.ed.jp)までお願いします。



## 風雪に耐えて「さくら咲く」

昨年秋の台風で、本校の櫻も痛手を負いました。校門に入るや枝を広げていた老樹の一本が根こそぎに倒れ、大枝を失ったものも何本にも及びました。

それでも冬を越し、河津桜の若木を皮切りに、上り坂正面の枝垂れ桜や、枝を広げた染井吉野の大樹の数々、校庭の奥に綾をなす種々の八重桜まで…日毎に上達してゆく鶯の声と寄り添って繰り広げられる櫻絵巻が、成高のふた月を彩ってきました。

しかしながらこの度の感染症対策で人事は異例のことばかり。卒業式に来賓のお越しを辞退し在校生の参列もなく、前後左右の間を広げた席に着いて全員がマスクで校歌を斉唱したのは、創立以来初めてのことでしょう。それでも保護者の見守りの中で呼名を受け凍々しく応えた卒業生達の背を、職員一同万感の思いで見送りました。自宅待機中の後輩諸君もどれほどか名残惜しかったことでしょう。

観櫻會の行事も取り止めやむなく、老若集いて命萌ゆる季節の歓びを共にする事はできませんでした。旧道から見晴る

かす花の雲に誘われ坂を登って来られる方の姿も散見されましたが、ひそやかに咲きしずかに散った今春の花でした。

入学式も、保護者の御列席が叶えられたのを幸運とさえ感じる厳しい状況で挙行されました。在校生も新入生も一日限りの登校で教科書と課題を手にするや在宅の日々となり、四月半ば現在、この先の行事予定も不確定です。クラスメイトの顔も確かめられないままの一年生、九十九祭やスポーツ大会の主役は我らと意気込んでいた二年生、部活動の集大成と受験に全力を傾けんと闘志を抱く三年生、誰もが、やり場のない思いでいます。

夕なずむ桜花を見上げていて校歌の「百難千苦」が胸に迫りました。先月巣立った卒業生達も、夢に見た新生活とはかけ離れた孤独で不如意な日々と直面していることでしょう。それぞれの立場で同窓生お一人お一人が紡いでおられる今日の営みが健やかな暮らしへと繋がることを、行く春の中で心から祈りました。



# 部活動の活躍

## 陸上競技部

千葉県高等学校新人陸上競技大会  
 2C 大塚 翔太  
 100m 第八位 11秒35  
 200m 第五位 22秒52  
 2F 青山 勇太  
 やり投 第四位 51m48  
 2C 伊藤 麻衣  
 ハンマー投 第二位 37m98  
 関東高校選抜新人陸上競技選手権  
 2C 伊藤 麻衣  
 ハンマー投 第五位 39m56  
 2F 青山 勇太  
 やり投 第八位 54m94  
 2C 大塚 翔太  
 200m予選第六位(全体十位) 22秒79

## 山岳部

千葉県総合体育大会登山大会  
 登山競技  
 男子団体 第五位 関東大会出場  
 女子団体 第三位 関東大会出場 (13年連続)

## 水泳部

千葉県高等学校総体水泳競技大会  
 400m個人メドレー  
 2G 大山 翼 第六位入賞  
 関東大会出場(予選四十二位)

## 柔道部

関東高校柔道大会千葉県予選  
 2E 鳥海 菜花 第三位  
 全国高等学校総体千葉県予選  
 2E 鳥海 菜花 第三位  
 3G 伊藤 丈尊 第五位

千葉県高等学校柔道新人大会  
 男子団体戦 第五位  
 体重別個人戦  
 2C 秋保 伊吹 第三位  
 2E 鳥海 菜花 第三位

## 卓球部

関東大会千葉県予選会  
 女子学校対抗 ベスト八  
 千葉県総合体育大会卓球大会  
 女子学校対抗 ベスト八  
 千葉県公立高等学校卓球大会  
 男子シングルス  
 2A 端川 祥黎 ベスト八  
 女子シングルス  
 2A 戸村 冴 ベスト八  
 2G 佐野あいり ベスト八

## ホッケー部

千葉県高等学校総合体育大会  
 女子団体  
 ホッケー競技 女子の部 優勝  
 関東高等学校ホッケー大会出場  
 関東高等学校選抜ホッケー大会出場  
 男子団体  
 関東高等学校選抜ホッケー大会出場

## 書道部

千葉県小・中・高席書大会  
 千葉県教育委員会 教育長賞  
 2F 小川 春希  
 成田山全国読書大会  
 読売賞  
 2G 中島 理子  
 千葉県小中高かきぞめ展  
 書星会長賞  
 2E 高知尾優香

令和2年3月31日現在

## 令和元年度卒業生 進路

大学名	現役	浪人
帯広畜産大	1	0
北教大旭川校	1	0
東北大	1	0
秋田大	1	1
山形大	1	0
福島大	2	0
茨城大	6	3
筑波大	1	0
群馬大	0	2
埼玉大	1	0
千葉大	8	1
東京芸大	0	1
富山大	2	0
金沢大	1	0
信州大	1	0
静岡大	1	0
三重大	1	1
愛媛大	1	0
高知大	1	0
前橋工科大	1	0
群馬県立女子大	1	0
千葉保健医療大	5	0
東京都立大	1	0
山梨県立大	1	0
都留文科大	1	0
静岡県立大	1	0
島根県立大	0	1
岡山県立大	1	0
国公立大学 合計	43	10

大学名	現役	浪人
酪農学園大	2	0
岩手医大	0	1
東北医薬大	0	1
つくば国際大	1	0
国際医療福祉大	18	2
自治医大	1	0
獨協医大	1	0
城西大	1	0
獨協大	2	1
日本工大	1	0
文教大	5	1
明海大	7	0
目白大	1	0
神田外語大	29	0
敬愛大	3	0
淑徳大	19	0
城西国際大	14	1
聖徳大	4	0
千葉経大	1	0
千葉工大	13	2
千葉商大	10	2
中央学院大	5	2
帝京平成大	6	0
東京情報大	3	0
秀明大	3	0
麗澤大	3	0
和洋女子大	13	0
千葉科学大	5	0
植草学園大	7	0
青山学院大	11	2
亜細亜大	6	1
桜美林大	1	0
大妻女子大	3	0

大学名	現役	浪人
学習院大	7	1
北里大	4	3
共立女子大	4	0
杏林大	6	0
慶応大	0	4
工学院大	2	1
国学院大	8	1
国士舘大	10	0
駒澤大	10	3
実践女子大	0	1
芝浦工大	6	1
順天堂大	12	0
上智大	1	2
昭和女子大	1	0
白百合女子大	1	0
成蹊大	8	0
成城大	8	1
専修大	18	0
創価大	1	0
大正大	4	2
大東文化大	12	0
拓殖大	2	0
玉川大	1	0
中央大	9	4
津田塾大	1	0
帝京大	15	1
東海大	4	0
東京家政大	3	2
東京経大	1	0
東京工科大	6	0
東京造形大	0	1
東京電機大	4	3
東京農大	4	0

大学名	現役	浪人
東京薬大	1	0
東京理大	5	1
東邦大	30	4
東洋大	22	3
二松学舎大	2	1
日本大	43	10
日本社会事業大	1	0
日本獣医生命科学大	2	0
日本体育大	4	0
日本文化大	1	0
文化学園大	1	0
法政大	23	6
武蔵大	1	1
東京都市大	2	0
武蔵野音大	2	0
武蔵野大	8	7
明治大	14	8
明治学院大	3	1
明星大	2	0
立教大	13	5
立正大	12	0
早稲田大	5	3
学習院女子大	1	0
東京医療保健大	5	0
東京聖栄大	2	0
麻布大	2	0
神奈川大	6	1
神奈川工科大	2	0
関東学院大	3	0
湘南工科大	1	0
東京工芸大	1	0
帝京科学大	2	0
東海学園大	1	0

大学名	現役	浪人
南山大	1	0
京都女子大	1	0
立命館大	1	1
龍谷大	2	0
関西学院大	3	0
甲南大	1	0
流通科学大	1	0
岡山理大	1	0
第一工大	0	1
私立大学 合計	606	100

防衛医科大学校	1	0
国立看護大学校	1	0
防衛大学校	0	1
その他の大学 合計	2	1

千葉敬愛短	1	0
大妻女大短大部	2	1
共立女短	1	0
東京歯大短	1	0
目白大短大部	1	0
日本歯大東京短	1	0
短期大学 合計	7	1

亀田医療技術専	1	0
日本医大看護専	1	0
千葉医療附看護	1	0
旭中央病院附看	1	0
専門学校(看護)	4	0
専門学校(看護以外)	16	2

地方公務員(山武市)	2	
------------	---	--



# 前を向いて

言葉は温かい。言葉は強い。  
先輩と後輩がそれぞれの想いを語る往復書簡。

## 先輩から

大学生になってから一年が経ちました。自分は地元を離れ、今までの生活と全く異なる生活を送っています。あの成東高校で過ごした日々がすでに懐かしく感じられます。

ことややりたいことに妥協せず挑戦してほしいです。

成東高校には充実した時間を過ごすことが出来る環境があると信じています。卒業したあと、成東高校で過ごした日々を糧に悔いを残さず、成長し続けられるように、今を大切にして全力で生きてください！

## 後輩から

お元気ですか。先輩が毎日のぼり通ったあの坂を私たちは今日も胸を張ってのぼっています。成東高校へと続く坂道では春になると桜が満開に咲き誇り薄紅色の雨を降らし私たちを優しく包みます。桜は入学した私たちを暖かく迎えてくれました。

あれから2年の月日が経ち、3回目の桜も散り、爽やかな風に青葉が揺れています。陸上部に入った私にはハンマー投げでインターハイへ出場するという大きな夢ができました。競技を始めた頃の私にとってインターハイは遠い夢でした。しかし努力を重ね、あのとき「夢」としか思えなかった大舞台は、



3年G組  
伊藤 麻衣

叶えたい・必ず叶える「目標」へと変わりました。私には同じ目標を持ち一緒にがんばってくれる仲間がいます。支えてくれる先生もいます。大会までの限られた時間を大切に使い「悔いは残さない」という強い意志を持って必ず目標を達成します。

私は今とても充実した日々を送っています。成東高校での出会いに感謝し、あのときがあったから今こうしてがんばれる。と未来の自分が誇らしく思えるように、あと少しの高校生活を全力で駆け抜けます。

## 同窓生ご執筆書籍の寄贈について(お願い)

本校図書館では、寄贈いただいた同窓生の御著作について、保管・公開をしています。

高校28回卒までの蔵書リストについては、『九龍百年』に掲載しているのとおりです。

元学習院長にして、旧山武町の名誉町民第一号の、近世文学者麻生磯次先生(中10回)や、キッコーマン中興の祖茂木啓三郎先生(中15回)など、学界・実業界に確たる名をのしらした諸先輩の御著作を始め、同窓生の成した畢生の御成業を、汗牛充棟、現役後輩の眼に直接触れ、直接手に取れる場に配架しております。

つきましては、同窓生の皆様の御著作を、志ある後輩のためには是非とも御寄贈いただきました。伏してお願ひ申し上げます。

## 広告掲載のお願いと事情説明

同窓生の皆様、十年の長きにわたる同窓会報をご購読くださり、誠に有難うございます。

本同窓会報は、清水前会長就任時より、九十九健児の意気を示し、不偏不党の気概をもって、同窓会員の協力金のみにより、無広告で、そのうえ赤字収支ともならず、刊行してまいりました。

これは、全国に幾千とある同窓会報中でも異例のことであり、わが同窓生の母校愛の強さを示す証左ともなっております。

しかしながら、十年の時を経て、毎年毎年の協力金のお願ひも為しがたく、不本意ながら刊行の資金調達困難の状況を迎えることとなりました。責は、ひとえに編集委員の無為非才にあり、茲に深くお詫びいたす次第でございます。

さりとて、創立百年を過ぎて漸く灯した同窓会報の灯を消すことはできません。次号より、広告掲載をすることとし、一般の同窓会総会で承認されたところです。

つきましては、まず同窓生に広告を公募したいと存じます。お志ある諸先輩のお声掛けをお待ちしております。

詳細については、  
289-1326

千葉県山武市成東3596

千葉県立成東高等学校

九十九同窓会 広告担当

電話 0479-86-4311

メール 999naitou@gmail.com

まで、何卒よろしくお願いいたします。



東北大学工学部2年  
加藤 湧也  
(高71回)

今は部活、サークル、バイトや勉強など、どれも自分で考え行動しなければいけない毎日にしがみつくのが精一杯です。大学での時間は密度が高く、あつという間でした。特に思い出に残っているのは、未経験のヨット部に入り、海外留学を経験したことです。この一年を通して感じたのは、大学では自分から行動しなければ、せつかくの学生時代を意味なく過ごしてしまうということ。大学生活は、社会人になる前にやりたいことを自由に出来る最後のチャンスなので、自分の経験してみたい

## 編集後記

会報第十号をお届けします。例年より遅くなりましたが、これは新型コロナウイルス感染症の影響ではなく当初の計画からです。前年度の進路結果を迅速にお伝えするにはなどの案件を考慮いたしました。

定期総会では清水新次会長が退任され、幹事が増員され、会報編集委員の田井中善夫氏も一員となりました。清水前会長には、会報創刊号より今号まで十回にわたりご挨拶を戴きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

会報が皆さんのお手元に届く頃は、「万緑叢中紅一点(ぼんりよくそうちゅうこういつてん)」「伝王安石、石榴詩」の季節。緑陰読書のお気持ちで会報を手にして下さると有り難いです。  
(汀魚)